

<記載例>

* この記載例は、相続人申告登記の申出（自らが所有権の登記名義人の相続人である旨の申出）に基づく登記の完了後、申出をした方が引っ越し等により住所の変更があった場合に、登記記録上の住所を現在の住所に変更する場合のものです。

※ 受付シールを貼るスペースになりますので、この部分には何も記載しないでください。

相 続 人 申 出 書

申出の目的 1 番付記 1 号名義人住所変更（注 1）

原 因 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日住所移転（注 2）

変更後の事項 住所 ○ 県 ○ 市 ○ 町二丁目 1 2 番地（注 3）

申 出 人 ○ 県 ○ 市 ○ 町二丁目 1 2 番地
 法 務 優 子（注 4）
 （氏名ふりがな ほうむ ゆうこ）
 （生年月日 昭和 ○ ○ 年 ○ 月 ○ 日）（注 5）
 連絡先の電話番号 ○ ○ - ○ ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○（注 6）

添付情報
住所の変更を証する情報（注 7）

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日申出 ○ ○ 法務局（又は地方法務局）○ ○ 支局（又は出張所）

不動産の表示（注 8）
不動産番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3（注 9）
所 在 ○ 市 ○ 町一丁目
地 番 2 3 番

不動産番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2
所 在 ○ 市 ○ 町一丁目 2 3 番地
家 屋 番 号 2 3 番

＜解説及び注意事項等＞

- (注1) 甲区（その不動産について所有権に関する登記の登記事項が記録される部分です。）何番の付記何番の相続人申告名義人（相続人申告登記の申出をした方）の住所を変更するのかを表示します。
- (注2) 住民票の写しに記載されている住所移転の日を記載します。数回住所移転している場合は、最後に移転した日を記載します。
- (注3) 住民票の写しに記載されている現在の住所を記載します。
- (注4) 申出人の住所及び氏名を記載します。住民票に記載されているとおり正確に記載してください。
なお、押印は不要です。
- (注5) 住民票上の申出人の氏名のふりがな及び生年月日を記載した場合は、添付情報として住所の変更を証する情報（住民票の写し）の提出を省略することができます。
※ 登記所において、記載された情報により住基ネットに照会を行い、住基ネットから提供された現在の住所・過去の住所と、申出書に記載された住所・登記記録上の住所が合致しているかどうかを確認します。
なお、住民票に記載のない方（国内に住所のない方）については住所の変更を証する情報の提出を省略することはできません。
- (注6) 申出書の記載事項等に補正すべき点がある場合に、登記所の担当者から連絡するための連絡先の電話番号（平日の日中に連絡を受けることができるもの）を記載してください。
- (注7) 登記記録上の住所、現在の住所及び住所移転の日が記載されている申出人の住民票の写し（原本）や戸籍の附票の写し（原本）です。住民票上の申出人の氏名のふりがな及び生年月日を記載した場合は、提出する必要はありません（注5参照）。
なお、住民票の写しを提出する場合は、マイナンバー（個人番号）が記載されていないものを取得し提出してください。
- (注8) 申出をする不動産を、登記記録（登記事項証明書）に記録されているとおりに正確に記載してください。
- (注9) 不動産番号を記載した場合は、土地の所在・地番、建物の所在・家屋番号の記載を省略することができます。
- (注10) 申出書が複数枚にわたる場合は、各用紙のページ数と総ページ数を記載してください。